

JSPN-KSPN 若手・中堅小児神経外科医交換留学プログラム

2017年度 交換留学プログラム JSPN派遣小児神経外科医 公募のお知らせ

日本小児神経外科学会会員 先生方へ

1. 目的

この度、日本小児神経外科学会（JSPN）と 韓國小児神経外科学会（KSPN）の交流事業の一環として小児神経外科医交換留学プログラムを実施することになりました。

KSPNは少数精鋭主義で正式会員数は20名あまりですが、欧米的なシステムのもとで症例の集約化が進んでおり、ソウル大学小児病院の2014年度手術件数は634件に上ります。また延世大学のSeverance病院小児神経外科の手術件数は700-800件とのことであり、この他にもAsan Medical Center, Catholic Medical Universityが300件前後になります。小児神経外科として腫瘍・先天奇形以外にも血管障害・てんかん・痙縮など全領域に取り組んでおり、その活動性の高さには瞠目すべきものがあります。一方で、ソウル地区以外では小児神経外科の活動は極めて限られているという問題も抱えています。

KSPN-JSPN交換プログラムでは日韓の小児神経外科学会若手・中堅メンバーの臨床を通しての交流をはかることを目的としています。実際の手術・病棟管理・カンファレンスを一緒に行うことにより、臨床面のみならず文化面も含め相互の理解を深め、意義あるものに育てていきたいと考えます。とりわけ、日韓のこのような圧倒的な症例数の違いがある中で、若手・中堅の小児神経外科医の皆さんに、どのようにしたら国内から海外に発信し国際的に通用する仕事ができるか、を考えるいい機会にさせていただければと願っています。

2. 人数・研修期間

毎年JSPNが選出した若手・中堅の小児神経外科医一名を派遣します。

期間は、2週間から8週間で予定しています（特に限定はありませんが、原則として2ヶ月以内）。

KSPN推薦施設の中から希望の研修施設を指名出来ます。一つの施設で全期間滞在する、もしくは複数の施設で研修することも可能です。

3. 応募資格

対象は、日本小児神経外科学会会員歴3年を有し、原則として脳神経外科専門医取得後15年以内（出産・病気による休職期間は含めない）の若手・中堅医師とします。

ただし、将来的に小児神経外科専門を目指す専門医試験前や後期研修中の脳神経外科医でも、本人の強い希望があれば応募は可能です。

4. 滞在中の諸問題

旅費・滞在費は個人負担です。滞在中の食費なども個人負担となります。

ソウルの大学病院の多くは、レジデントハウスや寄宿舍がありますので、利用可能な場合もあります。

5. 派遣医師応募

上記に基づき2017年度のJSPN派遣小児神経外科医を公募します。本事業の趣旨をご理解いただき、積極的に応募してください。

応募にあたりましては、現在所属している施設長の許諾が必要です。研修期間中の業務に支障が生じないように、事前に相談して下さい。

6. 応募締め切り

応募申込期日は**2017年9月末**までとします。

日本小児神経外科学会渉外委員会・総務会にて協議した上で派遣医師を選出し、理事会の了解をもって最終決定します。

尚、応募医師が無かった場合には、渉外委員会・総務会での協議を経て派遣医師を推薦する場合があります。

7. 帰国後業務

原則として、帰国後に研修報告を「小児の脳神経」に寄稿していただきます。また、日本小児神経外科学会総会で研修体験を発表していただきます。

研修終了時に、各施設あるいはKSPNより研修修了書を発行してもらい、受領した研修修了書のコピーを日本小児神経外科学会事務局に郵送で届け出させていただきます。

8. 応募要項

ご応募に際しては、添付の応募用紙の指示に従い提出書類を作成し、日本小児神経外科学会事務局まで郵送、あるいはe-mailにて送付して下さい。

2016年 1月 吉日

日本小児神経外科学会 渉外委員会

事務担当委員 朴 永銖 (奈良県立医大)

埜中正博 (関西医大)